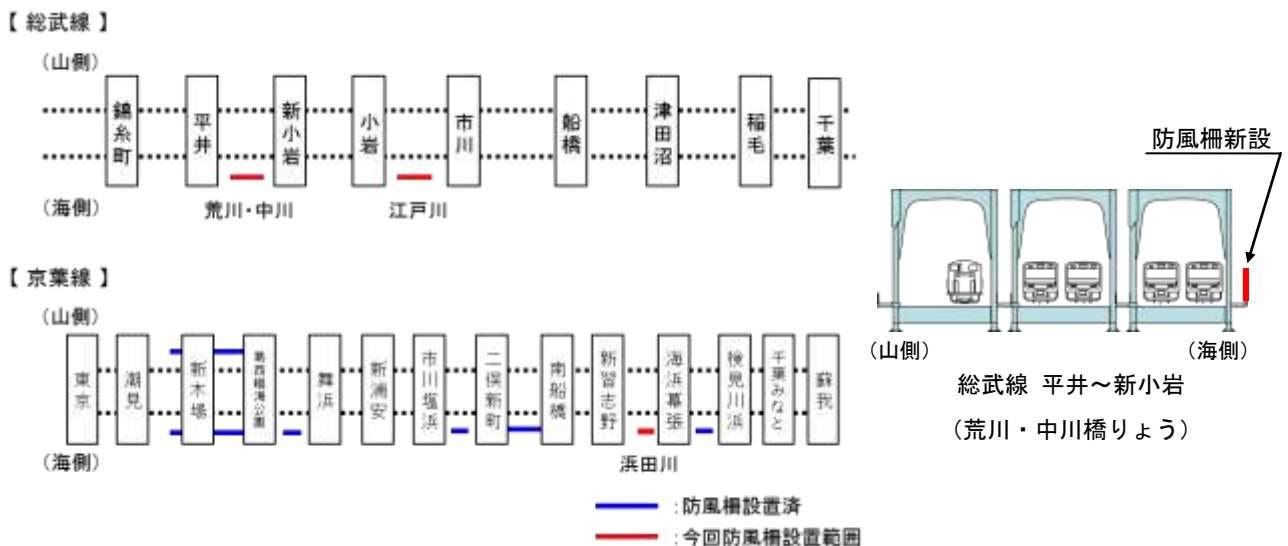


総武線・京葉線の防風柵使用開始について

JR 東日本では、強風時の列車の安全性を確保するため、強風に対する運転規制を実施しています。しかし一部線区では、運転規制に伴う輸送障害が多く発生することから、輸送の安全と安定性の向上を図るため、防風柵の整備を進めてきました。

このうち総武線の平井～新小岩間（荒川・中川橋りょう）と小岩～市川間（江戸川橋りょう）、京葉線の新習志野～海浜幕張間（浜田川橋りょう）については、2013年度より防風柵整備を進めており、5月末までにこれらの3箇所が使用開始となります。

1 防風柵の設置区間



2 防風柵の設置状況



総武線
平井～新小岩
(荒川・中川橋りょう)



総武線
小岩～市川
(江戸川橋りょう)



京葉線
新習志野～海浜幕張
(浜田川橋りょう)

3 使用開始時期(予定)

2014年5月30日(金) 初電より